EMECS13会議スケジュール【2021年9月6日（月）～9日（木）】

日時		9月6日（月）						9月7日（火）						9月8日（水）						9月9日（木）					
イギリス時間	日本時間	1	2	3	4	5	6	1	2	3	4	5	6	1	2	3	4	5	6	1	2	3	4	5	6
7.45-8.00	15.45-16.00	ウェルカムセッション						ウェルカム挨拶						ウェルカム挨拶						Welcome					
8.00-8.15	16.00-16.15							EMECS特別セッション：ICM（統合的沿岸域管理）と里海 ①	物理的、化学的、生態的な構造と機能	ガバナンスと適応型管理-ローカルからグローバルへ	生息地と個体群の回復、復元、創造			EMECS特別セッション：ICM（統合的沿岸域管理）と里海 ②	EMECS特別セッション：海洋プラスチック	モデル化を含む流体力学と水文学	システム間の接続性阻害			EMECS特別セッション：青少年環境教育交流セッション（参加学生：日本人6名、イギリス6名、ドイツ4名、各5分ずつ発表）					
8.15-8.30	16.15-16.30	EMECSおよびECSAによる挨拶																							
8.30-8.45	16.30-16.45	基調講演：Karel Essink																							
8.45-9.00	16.45-17.00													人工的に作られた半閉鎖性沿岸生態系の構造と機能											
9.00-9.15	17.00-17.15																								
9.15-9.30	17.15-17.30	基調講演：齋藤　光代（岡山大学・准教授）																		EMECS特別セッション：青少年環境教育交流セッション（ディスカッション）						
9.30-9.45	17.30-17.45									沿岸湿地の安定性、変化と生態系サービス															
9.45-10.30	17.45-18.30	休憩						休憩						休憩						休憩					
10.30-10.45	18.30-18.45	物理的、化学的、生態的な構造と機能	沿岸-河口域における人間の強制力と制約	科学と政策のコミュニケーション	ワッデン海の生態系：人間の影響、管理概念、将来の課題			EMECS特別セッション：ICM（統合的沿岸域管理）と里海 ①	物理的、化学的、生態的な構造と機能	地球規模の海面上昇に対する沿岸湿地の適応について	生息地と個体群の回復、復元、創造			人工的に作られた半閉鎖性沿岸生態系の構造と機能	EMECS特別セッション：海洋プラスチック	モデル化を含む流体力学と水文学	より良い海洋管理を支援に向けて：問題に直面する適切な解決策			マングローブの生態系、生物資源と持続可能な開発	気候変動下の河口域統合的河口修復計画：ローカルなケーススタディからグローバルな持続可能な管理まで	生態系サービスとソーシャルグッド・利益	成功した持続可能な管理のための全体的なアプローチ		
10.45-11.00	18.45-19.00																								
11.00-11.15	19.00-19.15																								
11.15-11.30	19.15-19.30																								
11.30-11.45	19.30-19.45																								
11.45-12.00	19.45-20.00																成功した持続可能な管理のための全体的なアプローチ								
12.00-12.15	20.00-20.15																								
12.15-13.00	20.15-21.00	基調講演：Ursula Scharler（南アフリカ・クワズールナタール大学）						基調講演：Dan Friess（シンガポール国立大学）						基調講演：Jodie Schlaefer（豪州・ジェームスクック大学）						基調講演：Yimnang Golbuu（パラオ国際珊瑚礁センター）					
13.00-13.45	21.00-21.45	基調講演：Anita Franco　（英国・環境コンサルタント）						基調講演：Luciana Esteves（英国・ボーンマス大学）						基調講演：Hendrik Schubert（ドイツ・ロストック大学）						基調講演：Valerie Cummins（アイルランド国立大学コーク校）					
13.45-14.15	21.45-22.15	休憩						休憩						休憩											
14.15-15.15	22.15-23.15	休憩 + ポスターセッション1（テーマ：「物理的、化学的、生態的な構造と機能」「沿岸-河口域における人間の強制力と制約」「重なる困難：a) 都市化した河口における汚染と気候変動の影響, b) 沿岸砂丘生息地の保全・修復活動から得られた教訓」「川の源流から海へ：地球変動下の河川・海のシステム」「沿岸湿地の安定性、変化と生態系サービス」						休憩 + ポスターセッション 2（テーマ：「ガバナンスと適応型管理-ローカルからグローバルへ」「河口と半閉鎖性海域の都市化と工業化」「物理的、化学的、生態的な構造と機能」「ブルー成長とグリーン成長- 利益の最大化、影響の最小化」「生息地と個体群の回復、復元、創造」「汚染された河口や沿岸の海」「ICM　& 里海」「 沿岸湿地の安定性、変化と生態系サービス」「海岸の持続可能な管理に向けた、現場データ、モデル、地球観測の統合」						休憩 + ポスターセッション 3（テーマ：「モデル化を含む流体力学と水文学」「 成功した持続可能な管理のための全体的なアプローチ」「システム間の接続性阻害」「生息地や生態系の喪失と獲得」「より良い海洋管理を支援に向けて：問題に直面する適切な解決策 」「人工的に作られた半閉鎖性沿岸生態系の構造と機能」「海のプラスチック」「気候変動下の河口域」「生態系サービスとソーシャルグッド・利益」「マングローブの生態系、生物資源と持続可能な開発」						閉会セレモニー（まとめ、優秀発表賞表彰、閉会挨拶）					
15.15-15.30	23.15-23.30	物理的、化学的、生態的な構造と機能	沿岸-河口域における人間の強制力と制約	環境影響評価における人間の介入が河口域の流体力学および堆積物輸送に与える影響の研究	川の源流から海へ：地球変動下の河川・海のシステム			汚染された河口や沿岸の海	物理的、化学的、生態的な構造と機能	海岸の持続可能な管理に向けた、現場データ、モデル、地球観測の統合	ブルー成長とグリーン成長-利益の最大化、影響の最小化			汚染された河口や沿岸の海		モデル化を含む流体力学と水文学	成功した持続可能な管理のための全体的なアプローチ			閉会					
15.30-15.45	23.30-23.45															富栄養化に対する見解の変化、影響と評価ガイドライン									
15.45-16.00	23.45-0.00																								
16.00-16.15	0.00-0.15																								
16.15-16.30	0.15-0.30																								
16.30-16.45	0.30-0.45																								
16.45-17.00	0.45-1.00																								
17.00-18.00	1.00-2.00	休憩						休憩						休憩											
18.00-18.15	2.00-2.15	物理的、化学的、生態的な構造と機能	沿岸-河口域における人間の強制力と制約	沿岸湿地の安定性、変化と生態系サービス	重なる困難：a) 都市化した河口における汚染と気候変動の影響			汚染された河口や沿岸の海	物理的、化学的、生態的な構造と機能	河口と半閉鎖性海域の都市化と工業化	生態系の健全性評価へのDNAメタバーコーディングの応用				気候変動下の河口域	富栄養化に対する見解の変化、影響と評価ガイドライン	成功した持続可能な管理のための全体的なアプローチ								
18.15-18.30	2.15-2.30																								
18.30-18.45	2.30-2.45																								
18.45-19.00	2.45-3.00																								
19.00-19.15	3.00-3.15				重なる困難：b) 沿岸砂丘生息地の保全・修復活動から得られた教訓																				
19.15-19.30	3.15-3.30																								
19.30-19.45	3.30-3.45																								
19.45-20.00	3.45-4.00																								
		閉会						閉会						閉会											

基調講演は各45分間（講演35分、質疑応答10分）、発表は各15分間（発表12分、質疑応答3分）